

平成26年8月22日

宮前区馬絹1397-3

リニア新幹線を考える

高津・中原・宮前・麻生・多摩の会

共同代表 山本太三雄

090-8775-1879



リニア新幹線着工前に沿線住民への速やかな説明会開催を求める陳情

陳情の要旨

平成26年7月、国土交通大臣が、JR東海に意見書を提出しました。

その内容の中に、「地域住民等への丁寧な説明」【1. 総論の(1)】という項目があります。

いまだに自分が住んでいる住宅の地下にリニア中央新幹線の工事が計画されていること自体を知らない人が多いと思います。

丁寧な説明とは、少なくとも、路線上の住民に対しては、計画自体を知らせ、知らない住民がないよう、説明会を開催して、計画の内容及び影響について、住民に判り易く、説明し、理解してもらうことだと思います。具体的には、

- (1) リニア新幹線路線上の誤差を含め両側で幅200メートルの住民に対し通知し説明会を速やかに開催すること。
- (2) 通知方法については前回の新聞チラシ以外にもポスティング、町会回覧、郵送などを検討し、出来るだけ多くの住民に対し説明会について告知すること。
- (3) 開催単位などは町会単位など住民組織と相談し、説明会開催地域は町内会、自治会単位とすること。
- (4) 開催日は平日のみならず休日を含め、出来るだけ多くの住民が参加し易い曜日や時間帯を選ぶこと。
- (5) 非常口と大深度地下(トンネル)工事についての説明にあたっては特に路線上の住民に直接影響のある、工事の際の騒音、振動のレベルなどを具体的な数値で、生活に支障をきたさないのか、夜間工事が安眠を妨害しないのか説明すること。準備書と違う点を中心に判り易く説明すること、生活への支障、安眠妨害の場合にどのような補償をするのか、また、資産価値の下落と補償の有無の説明をすること。

是非、市としてJR東海に路線上の住民に充分説明するよう、工事認可前に申し入れ、実施するよう陳情します。よろしくお願いいたします。